

子どもの本コンシェルジュがおすすめする本です！

しもぎょうとしょかん 下京図書館だより

冬号(令和6年12月発行)

《低学年向け・よみもの》

『**飛べ!山小屋ヘリコプター** くらしをささえる
の乗りもの』

池田 菜津美/文 星野 秀樹/写真
新日本出版社

山登りで泊まったり、
ごはんを食べたりでき
る山小屋へ、食べ物など
をはこぶヘリコプター。
飛び立つ前のじゅんぴ
から山小屋に着いた時の
様子までをわかりやすく
しょうかいています。



『**雪のふしぎ**』

いしがき わたる/え ふるかわ よしのり/かんしゅう
マイルスタッフ

夏でも雪は雲の中でふって
いるってしていますか。
この本はうつくしい絵で、
雪のふしぎをお話するように
おしえてくれます。最後には
いろいろな雪の結晶がのって
いて、雪がふったらどの結晶
かを見てみたくなりますよ。



もうすぐ1年が終わります。そしてお正月、楽しみです。休みの間にいろいろな本を読んでみよう！
ここで紹介した本のほかにも、下京図書館にはおもしろい本がたくさんあるよ！ぜひ遊びに来てね！

《中学年向け・よみもの》

『**ともに生きる**』前川 貴行/写真・文 あかね書房

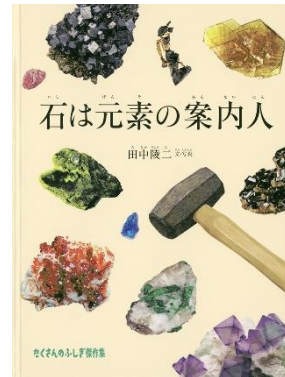
動物の写真を撮る前川さん
はツキノワグマの写真を撮る
ために、東北へ。ツキノワグ
マは世界的には絶滅が心配さ
れる種ですが、写真を撮った
クマがその翌日ハンターに撃
たれたことを知ります。クマ
と人がともに幸せに生きてい
くにはどうすればよいのでしょうか。



『**石は元素の案内人**』

田中 陵二/文・写真 福音館書店

塩のかたまりである岩塩
を割ると、必ず、サイコロ
型になります。なぜでしょう
か。昔の人がそれに気がつ
いたことから、あらゆる物
は元素からできているとわ
かってきました。この本は
写真も豊富で、石や元素の
おもしろさ・美しさ・種類
などがわかりやすく楽しめます。



《高学年向け・よみもの》

『**キャラ絵で学ぶ!日本のお祭り図鑑**』

小松事務所/文 小松 哲雄/監修
いとう みつる/絵 すばる舎

全国にはたくさんのお祭
りがあって、盆踊りのよう
な踊りも色々あります。
この本はお祭りをキャラ
クター化して、その地域の
歴史や文化なども解説して
います。いろいろなお祭りを
見に行きたくなるかもしれませんよ。



『**世界が広がる!地図を読もう**』

今和泉 孝行/著 誠文堂新光社

スマホを持つ人が増
え、自分がどこにいる
のかすぐわかる便利な
時代になりましたが、
地図には見ながら、行
き先や行き方を考え
る楽しさがあります。
他には、地図にどんな楽しさがあるのでしょうか。



《低学年向け・ものがたり》

『ふしぎなつうがくろ』

花菱 真希 / さく 石井 聖岳 / え 講談社

1年生のひろとがたいそう服のふくろをぶんぶんふりまわしながら歩いてみると、手からふくろがはなれて、竹の子にひっかかってしまった。とろうとすると、竹の子はずんずんのびて、竹になってしまった。それならぼってやろうと、ひろとは竹をのぼりはじめめるのですが…。ふしぎな4つのお話。



『くよくよしてもしかたがない！』

ワンダ・ガアグ / 再話・絵 小宮 由 / 訳 瑞雲舎

あるお百姓のだんなさんはおくさんのほうが、らくなしごとをしているかと思っていました。ある日、ふたりは、しごとをとりかえることに。おくさんのしごとは家のそうじ、料理にバター作り、動物とむすめのせわです。でも、1日でこりごりに。どんなことがあったのでしょうか？



《中学年向け・ものがたり》

『消えた校長先生』

西村 友里 / 作 おおば 賢哉 / え Gakken

4年生の潤也は夏休みの前に野外学習で「山の家」に行くことに。暗やみがこわい潤也はお寺のおしょうさんから半分にわれたお守りをもらいます。もう半分は校長先生がもっているの、山の家でもらいなさいと言われます。山の家に着いても、校長先生は何度も消えてしまい、校長先生はへびだといううわさまで…いったいどうなる？



『バラクラバ・ボーイ』

ジェニー・ロブソン / 作

もりうち すみこ / 訳 黒須 高嶺 / え ぶんけんしゅつぱん 文研出版

4年生のクラスに目だけがみえている帽子をかぶったトミーが転校してきた。みんな興味津々。でも、トミーは理由をきかれても、「なぜなら」と答えるだけ。クラスのみんなは、なんとか、その理由が知りたくて、いろいろな作戦を考えますが…。



《高学年向け・ものがたり》

『やらなくてもいい宿題 謎の転校生 -算数バトル編-』

結城 真一郎 / 作 しゅふ ともしや 主婦の友社

転校してきたナイトウさんは、質問しても、内緒と答えるだけ。算数が得意な数斗が、ある事を疑って、話しかけると、算数の問題が解けたら、答えてあげると言われます。問題は、しかけのある難問で…。数斗は謎を解いて、ナイトウさんに答えてもらえるのでしょうか。



『手話だからいえること 泣いた青鬼の謎』

丸山 正樹 / 作 高杉 千明 / え 偕成社

大好きな友達の英知が引っ越してしまい、手紙のやりとりをしている美和は、返事を待つ毎日。そんな美和に妹ができることに。美和は妹のお父さんをアラチャンと呼んでいます。なぜなら美和には小さいころ別れた本当のお父さんがいるから。美和のゆれ動く気持ちに、心がゆさぶられ、家族の優しさにいやされます。



目下京図書館 (公財) 京都市生涯学習振興財団

〈場所〉 ☎600-8449 下京区新町通松原下る富永町 110-1 下京 修徳ふれあい福祉会館 4 階 ☎351-8196

〈開館時間〉 月・水～金曜日 午前9時半～午後7時 土・日曜日・祝日 午前9時半～午後5時 休館日：火曜日

貸出中の時は予約してね！